

令和5年12月29日(金)志津川仮設魚市場で「第33回ラムサル志津川湾おすばで祭り」が開催されました。

南三陸町の年の瀬の一大イベントであるこの祭りは、「酒の肴・つまみ」を意味する「おすばで」をテーマに、年越しやお正月に欠かせないタコ、アワビ、ホタテなどの志津川湾の恵みを受けた特産品が得値で販売されました。

朝7時半という早い時間の開催となりましたが、開催前から500人ほどが並び、合計来場者は約5,500人となりました。

冬の三大祭りの第三弾である牡蠣祭りは2月25日(日)開催(予定)となっています。

酒の肴が勢ぞろい!



寒鱈メニューが盛りだくさん!

1月21日(日)志津川仮設魚市場で「第3回ラムサル志津川湾寒鱈祭り」が開催されました。

冬の名物である寒鱈をテーマにした今回の祭りは、タラ汁やタラフライ、タラバーガーなど、鱈をふんだんに使用したメニューのほか、タコやカキなどの海産物、もつ煮やそばなどの販売が行われました。

また、寒鱈祭り恒例である寒鱈一本売りも数量限定で行われ、65本の鱈が1時間ほどで完売となりました。

当日は暴風警報、波浪警報が発表された中での開催となりましたが、約2,000人に来場いただき、南三陸の美味しい鱈を味わっていただきました。



私が冬休み防災無線放送を担当しました

町では、防災行政無線を活用して、冬休みの期間中、子どもたちが安全に帰宅できるよう帰宅促進放送をしています。

今回は、伊里前小学校6年生の伊東友妃さんが担当しました。

伊東さんは「間を空けてゆっくり話すことを意識した。少し緊張したけど上手に話すことができて良かった」と感想を話してくれました。

東日本大震災での恩返しの思いを込めて



1月21日(日)令和6年能登半島地震により避難生活を余儀なくされている石川県の被災者の皆さまに対し、株式会社薬王堂様、宮城県トラック協会登米本吉支部様のご協力をいただき、支援物資を配送しました。

飲料11,160本、味噌汁8,160食、カラーコーン30セットの他、南三陸町志津川ライオンズクラブ様からはブルーシート50枚が届けられます。

また、1月20日(土)から2月21日(水)にかけて、看護業務支援、住宅被災認定調査支援、給水支援、健康管理支援などを目的とし、町職員8名を石川県へ派遣します。



交通死亡事故ゼロ3500日達成!

南三陸町では、令和5年12月31日をもって交通死亡事故ゼロ3500日を達成しました。町内では、平成26年6月から約9年6カ月もの間、交通死亡事故が発生していません。

これにより、1月12日(金)に県警本部長から褒状が伝達されました。

これもひとえに、皆さまの継続した交通安全活動の成果であり、引き続き、交通事故のない南三陸町を目指し、交通安全を心がけましょう!



百寿のお祝い 佐藤みとりさん(㊦天王山中央)



12月22日(金)に百寿を迎えた佐藤みとりさんに、町からお祝い金と花束が贈られました。

好き嫌いがなく、なんでも食べるそうで、今は野菜類が好きでよく食べているそうです。普段はテレビを見たり、塗り絵をして過ごしているみとりさん。長寿の秘訣をお伺いすると「3食しっかり食べて、規則正しい生活をする」と話してくれました。

お子さんが5人、お孫さんが7人、ひ孫さんが6人いらっしゃるそうで、ご家族もきつとご長寿を喜んでいることでしょう。

みとりさん、いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。

百寿のお祝い 齋藤きみこさん(㊦田尻畑)



12月26日(火)に百寿を迎えた齋藤きみこさんに、町からお祝い金と花束が贈られました。

まんじゅうなどの和菓子が好きで、数年前までは縫い物の先生もされていたそうです。

ご長寿の秘訣は「好きなことを何も気にせず楽しむこと。楽しみがあることが長寿の秘訣」だそうです。お孫さんの麻美さんは「母親代わりに育ててくれた優しいおばあちゃん」と話してくれました。

お子さんが1人、お孫さんが2人、ひ孫さんが2人いらっしゃるそうで、ご家族もきつとご長寿を喜んでいることでしょう。

きみこさん、いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。